

# ⑪ 従業員情報の取扱いに配慮した、ヒトの適格性検証に基づく信頼チェーンの構築

NEC（日本電気株式会社）

A  
創出・証明

B  
構築・流通

C  
検証・維持

サプライチェーンに対し、「信頼の創出・証明」と、「信頼チェーンの構築・検証」の2つを実施することで「信頼」を創出

## 解決すべき課題と開発方針

NIST SP-800やWP29などに沿うセキュリティ施策の導入が、企業にとって喫緊の課題となっているが、導入するには施策に対応した**証跡を残す**ことが必須となる。GDPRや各国規程との関係から、ヒトの証跡をどう残すかは未だ曖昧な部分が多いので、**対応工数が膨むことが確実**である。

- ① **課題**：GDPR等の関係から、「何を、どのように記録するのか？」を各社で重複検討が発生  
**方針**：業態横断で記録すべき共通項を示すホワイトペーパーを作り、各社検討負荷を削減
- ② **課題**：日々の運用で、人手によって記載すると、膨大な工数が必要  
**方針**：システム化によって、工数を圧倒的に削減できることを試作により検証

## 方針①今年度予定成果：ヒトの情報取扱いのホワイトペーパー公開

- 2020年度末までに、共通項目として示すべき事項を一覧化し、ホワイトペーパーとして公開し、標準化を図る。欧州当局の認証を受けるため、今年度中に申請準備を整える。
- 業務適合性検証のためのプライバシー保護ガイドラインとして使えるよう、ホワイトペーパーがGDPRに適合していることを示すために、欧州データ保護当局(DPA)の承認を得ていく予定。

**成果の公開や標準化を進めることで、社会の共有資産とする。**

## 方針②今年度予定成果：システム化による工数削減効果の検証

- 従業員情報の集計をシステム化することによる、手作業に対する削減効果を検証する。
- ヒトだけでなく業務の適合性検証に必要な従業員情報の取扱いも想定に含める。

### 一例として、複数の工程から成る、機器製造のユースケースで検証



**システム化によって、工数削減できることを試作により検証**